

## 入江歯科医院からの3つのメッセージ

### 「こんな歯医者さんは要注意！」

入江 毅 著

#### \* はじめに \*

こんにちは。院長の入江 毅です。  
この冊子を手にとってくださり、ありがとうございます。

さて、今日は私の大切な患者さんであるあなたに、大切なメッセージをお伝えしたいと思います。

それは、「あなたの大切な歯のことを、家族のように親身になって考えてくれる誠実な歯医者さんの選び方」について。

これを見分けるための、3つのチェックポイントについてお話ししたいと思います。

#### \* 1つ目 十分な説明をしてくれるか？ \*

患者 「歯が痛いんですけど・・・」  
歯医者 「では、抜歯してブリッジにします。はい、麻酔しますよ。」

—— こんな歯医者さんも多いものです。わけの分からないうちに、抜く必要のない歯まで抜かれた、なんてことないように、気を付けましょう。

ちゃんとした歯科医院でしたら、初回にあなたの言葉をよくお聞きして、拡大したレントゲン写真や、お口の中を写した写真を使って、ていねいに説明してくれるはずですよ。そして、歯が悪くなった原因や、今の状態を分かりやすく説明し、治療計画と一緒に立てていくはずですよ。

選択肢がいくつかあるのなら、当然、あなたに選ばせてくれます。

## \* 2つ目 待ち時間が長すぎないか？ \*

患者 「予約しているのに、もう20分も待たされているなあ」

受付 「次の方、どうぞ～！ 右の席になりまあす。」

患者 （お詫びの言葉もナシ？）

～ 5分後～

歯医者 「はい。今日はもう結構ですよ。混んでいるので続きは次回にしましょう」

患者 （なんとなく、納得がいかない・・・・・・）

—— よくありますね！ こんな歯医者さん。

患者さんの時間に対してルーズなのは、予約を取るときに、きちんと計画を立てていないからです。

当院では、患者様お1人につき30分の予約制を採用しています。予約を取るときに、この治療だったら何分かかかるかな、と予想して、なるべくあなたをお待たせしないよう、心を配っています。

もちろん、医療施設ですから急患さんが来られることもあります。そんなときは、少しお待たせするかもしれません。

そのかわり、あなたが急な痛みでがまんできなくなったときも、私達は、思いやりを持って、あなたを優先的に拝見します。

その点をご理解・ご協力くださいね！

**\* 3つ目 なるべく削らない、なるべく抜かない方針か？ \***

「むし歯は早期発見が大切。見つけたら早くけずってつめましょう。」

・・・こんなことを言っている歯医者さん、いますよね。

そういう歯医者さんのいる診療所では、いつも「キュイイイイン」という、嫌なタービン音が鳴り響いていることでしょう。

こういう歯医者さんには注意してください。

「ミニマム・インタベンション」という言葉があります。

これは、「最小侵襲」、つまり、極力少ししか削らない治療のことです。現代の発達した歯科では、こういう治療が主流なっています。

当院ではこの治療法を採用していますので、できかけのむし歯なら、削らずに治します。歯の表面をきれいにし、最新の接着システムでコーティングしてしまうのです。

たとえ削らなければならない場合でも、できるだけドリルの回転をゆるくして、削る量を可能な限り最小にします。

当院の場合、1日のうち、タービンを全く使わないこともあります。使うのは、回転を遅く出来るもの。しかも、むし歯の深い所では使いません。

深いむし歯は、低速モーターという、もっとゆるやかな回転の道具か、手作業で治療します。

歯の神経も痛まないように、きちんと保護しながら治療します。

**\* 以上、「誠実な歯医者さんの見分け方3つのポイント」でした。**

いかがでしたか？ どういう歯医者さんにつきあえばいいのか、もうおわかりいただけましたよね。

誠実な歯医者さんを見つけたら、主治医として、長いお付き合いをしていくようにしてください。

さて、ここまでお読みくださったあなた、ありがとうございます。  
お礼がわりに、大切なお話をしようと思います。

歯の健康で一番大切なのは「予防」です。

「予防ケア」にお越しいただくと、普通の歯磨きでは取りきれない汚れをゴム製の器具で、そーっと優しくおそうじします。痛みはありません。

普通の歯磨きでは、ミュータンス菌、歯周病原菌の住みか「バイオフィルム」は取りきれませんが、衛生士の使う器具を使えば、きれいに取れます。でも、1度お掃除しても、3ヶ月たつと、また再生します。ネバネバの菌の塊があなたの歯にこびりついて、虫歯を作ります。また、菌は唾液と一緒におなかにはいって、内臓や脳にも、悪さをします。

少なくとも、3ヶ月に1度は、歯の予防ケアを受けていただきたい理由は、これなのです。

一生、健康な歯を守るため、そして全身の健康を守るためにも、3ヶ月に1度は「予防ケア」にお越しく下さい。

## 番外その1．院内消毒について

当院では、感染予防対策として全ての歯科機材に滅菌消毒を行っております。また、注射針・手袋等は、1回限り使い捨てのディスポーズブルタイプを採用しております。どうぞ、ご安心の上、治療をお受けください。

念のため、血のついた物は、グルタラール製剤（デントハイド）60分に、高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）を行い、他はオートクレーブ処理をしています。

スピッパは、1人ごとにアルコール清掃をしています。

治療イスは塩化ベンゼトニウム清掃です。

水洗後の手拭には、1人1枚の半タオルを使っています。

## 番外その2．入れ歯について

残根も使えるなら、短くして残し、入れ歯を下支えするオーバードンチャーを多用します。できる場合は、冠よりは金属の詰め物（インレー）接着性充填を選択します。

## 番外その3．レントゲンについて

歯科医療で使うレントゲンは、極めて人体に影響の少ない物を使っており、皆様が感じられるほど危険なものではありません。

歯科でレントゲン撮影した時に受ける放射能の量は、晴れた日に外で自然に浴びるのと、同じ程度です。レントゲン検査によって、炎症、骨の病気、歯周病の進行具合、隠れた虫歯などを、的確に見つけることができます。

### レントゲンの種類

1．オルソパントモ撮影法・・・口の中全体を1回で撮ります。親知らずや腫れの広がりを写したい時や、口の中にフィルムを入れにくい時に使います。

2．デンタル撮影法・・・限られた部分をより詳しく見るために使います。お口の中にフィルムを入れます。

当院では、IP（イメージングプレート）式デジタル方式のため、2の線量が従来（C感度）の5分の1になりました。

拡大、鮮明化が出来るので、見やすい画像で説明でき、わかり易いと思います。

## 著者プロフィール

入江 毅 (いりえ たけし)

1956年9月 茨城県つくば市に生まれる

1982年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1990年 入江歯科医院開院

歯科医師免許

普通自動車免許

ウインドサーフィン3級、24式簡化太極拳初伝相当

杉並区歯科医師会会員、歯と口の健康を守ろう会(T.O.H.)会員

No.1DentistClub会員、FarEastFleet会員、SvenSeas  
艇庫会員

167-0035 杉並区今川3-29-17-101

& Fax 03-3301-7077

平成17年4月20日 初版発行 定価200円

入江歯科医院からの3つのメッセージ こんな歯医者さんは要注意!

著者 入江 毅

Copyright(c) 2005 by Takeshi Irie Allright reserved

Printed in Japan 2006